

4月11日(水) 本年度 第35回(通算 第2911回)

「会員増強フォーラム」

担当/会員増強・維持委員会 12:30～ 釧路プリンスホテル

◆お客様と来訪ロータリアン

◆メーカーキャップ

4/9(釧路北 RAC) 伊藤 尚嗣君、川村 真一君、田野 竜之介君、前 義幸君、宮下 洋介君

◆出席報告【会員総数 78名 免除 6名 出席計算に用いた会員数 78名】

本日の出席率 出席者名 41名 メーカーキャップ 5名 出席率 59.0%

前々回の修正出席率 出席者名 40名 メーカーキャップ 22名 出席率 76.5%

◆ニコニコ献金

- ・平井委員長、今日は宜しくお願いいたします ～森山 義文君、鈴木 圭介君、伊藤 尚嗣君
- ・平井委員長がんばって下さい ～高橋 貢君
- ・本日担当例会よろしく申し上げます ～平井 昌弘君
- ・50歳です。これからも宜しくお願いします ～篠原 恒也君
- ・結婚記念日です。ありがとうございます ～富樫 孝之君、若林 新君

◆会長挨拶 << 森山会長 >>



新年度の4月になりまして今月の22日には小林年度PETS・地区協議会が帯広で開催されいよいよ60周年式典に向けた次年度が近づいてきました。次年度が近づいてきたということは、当然今年度の終わりが近づいてきたという事ではありますが、まだ3か月弱ありますので油断はできません。何に油断できないかは自分でもよくわかりませんが、とにかく油断できないのがRCの会長職であります。

そんな今日この頃ではありますが本日は会員増強についての例会です。会員増強は皆様ご存知のように新会員の勧誘・現会員の退会防止、および新クラブの結成という3つの部分から成り立っています。ロータリー用語辞典でもクラブが勝手に会員数を制限することはロータリーの原則に沿わないし、適正な事とはいえないと記載されています。クラブが会員増強に対して積極的な姿勢をとることは会員の質の低下を防ぐ意味でも大変重要な事でもあります。

私たち釧路北RCも次年度60周年を迎えますが次の70年にむけクラブが健全な発展を遂げるための対策として新会員の勧誘と・退会防止には常に積極的にならなければなりません、本日のプログラムでは会員の皆様方の積極的で建設的なご意見をどうぞよろしくお願いいたします。

以上今年度35回目の会長挨拶を終わります、どうもありがとうございました。

◆幹事報告 << 鈴木幹事 >>



1. 次週は、4月18日(水)、親睦家族委員会担当の「新入会員歓迎会」でございます。夜例会となっておりますので、お間違えのないようにお願いいたします。

回覧

1. 釧路北ローターアクトクラブ様より5月例会案内を回覧しております。
2. 釧路市女性団体連絡協議会様より機関紙「きずな」が届いておりますので回覧しております。
3. 厚岸ロータリークラブ様より例会案内及びプログラムが届いております。
4. 例会出席予定表を回覧しております。
5. 宜蘭ロータリークラブ様よりお預かりしている、過去の記念誌等を回覧しております。

◆委員会報告

◆本日のプログラム

「 会員増強フォーラム 」

担当 会員増強・維持委員会



平井昌弘 委員長

本日は会員増強・会員維持フォーラムという事で、会員増強委員会は上期下期1回ずつの例会となっております。

上期においては、ゲストをお招きしましてロータリークラブに入って良かったというお話を各会員に頂戴したところでございます。上期の入会は出来なかったんですが、下期において松橋会員、石部会員、前会員に入って頂いて81名という事にな

ったんですが1名退会者が出ましたので、現在80名となっております。森山会長が掲げる純増3名まであと1名足りませんので、しっかり残りの限られた中で皆さんの御協力と御理解を得て、入会者を増やせばいいと思っております。

また、平日頃家庭集会で会員増強・維持については、いろいろと話されていると思うんですが、今一度ですね本日はテーブル毎に分かれましてディスカッションを行って頂いて、各テーブルの方でそれぞれ発表していただければと思います。

<< A テーブル >>

会員維持についてですが、会員維持は永遠のテーマだという話が出ました。楽しい魅力ある例会でなければならないと思います。退会される方もいますが、入会された若手においてはスポンサー

がしっかりとフォローにまわり、若手メンバーにクラブでの役割を与える事が、先ずは出席率向上に繋がり、そこから維持に繋がるのではないかと考えております。 また会員増強については職業分類で欠けているところにポイントを絞ってアタックしてはどうかという事と、会員を増やせば本当に良いのか？ 80名いることで会としては運営が楽かも知れませんが、収支の確認や中身をしっかりとしてから会員増強に取り組んだ方が良いのではという話もありました。

《 B テーブル 》

維持と増強は連動していて、ロータリーというのは世界的に有名な奉仕団体であるが、今一理解していない人達が多いと思います。 それをどう理解させていくかという事で全体的にロータリーだけではなくて、一般の方々が悪い意味で個人主義になっています。 社会に対してロータリーは何ができるのか。 人づくりに重点を置いてそういう事が出来てこそロータリーを理解して頂いて会員増強に繋がるのではないかという話になりました。 他の人について考えてない人をロータリーに入会して頂くのは難しいということでした。

平井昌弘 委員長

・・・時間が無くなりましたので、残りのテーブルの報告につきましては、後に報告書を頂ければ私の方でまとめてお届けしたいと思います。 宜しくお願いします。

